
チート国家、異世界へ

ファイナルトム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チート国家、異世界へ

【Nコード】

N2065Y

【作者名】

ファイナルトム

【あらすじ】

日本が無く別の国家が存在していた世界・・・チート国家とよばれた国が他の世界へトリップしてしまう。

トリップの日（前書き）

国家クラスのトリップに挑戦してみました。

トリップの日

この世界はちよつと違った世界・・・寿命の概念が無く、言語のみ世界共通語で日本という国がない世界。

日本の大陸はユリシイズという民主主義国家があった。

地震予知センター

「お定番だね。」

「はい！？お定番？」

「独り言、独り言・・・というか・・・」

「おつと地震予測が出来たぞ。久しぶりの地震だな・・・」

「会いたかつたにしか聞こえないぞ？」

「会いたくないさ！まあ・・・1ヶ月ぶりだけど。」

「なんじゃこりゃ！？首都直下型だぜ！」

「詳細な情報は不明！」

首都直下型地震・・・最も恐れられている地震である。発生した場合、首都崩壊もありえ、準備が盛んに勧められているも予測している時期より10年早かった。

「来るぞ！」

だが、いまいち弱い地震で済んだのであった。

それだけだった、筈であった・・・

国会議事堂のとある一室

「とりあえず、明日の休暇を使って涼宮ハルヒの憂鬱をまとめて買

つてから雪風の最終巻を買っよ。」

そういうのはユリシイズ国を代表する・・・総理大臣こと東郷林太郎である。当選後、早々に何故か総理大臣となったが腕は確か・・・なはず。

「首相！いい加減、公務中のプライベートな会話はお控えください！」

「いいではないか。ただでさえ、激務なのに！」

怒るのは総理の秘書・・・ミント・スタージユである。東郷総理にはちょっとした恋心を抱いているも、アニメ・ゲーム好きの総理に呆れているばかり。みんと本人もアニメ・ゲーム好きであるが、隠し趣味・・・

「東郷総理！緊急事態です！」

「どうした!?!」

慌てて電話を切る。

「地震の被害状況ですが・・・」

「今のは震度2くらいだろ？被害はそんなにないだろう・・・」

「(こいつ・・・)」

「全衛星からの通信途絶、海外へのネットワーク接続不可・・・」

「・・・ジョーク？」

「・・・いいえ。」

「後、竹島の韓国人に脅しに行ったアーレイバーク級ミサイル駆逐艦『フレアボム』からですが、竹島が目の前から消えたとの事です。」

「超次元だな・・・」

「おかしなことにグリーンランド戦争へアメリカ軍の援軍として派遣した筈のあたご型護衛艦がここから200海里先にて航行しているとのこと・・・」

「ワープだよな？ここはアニメかゲームの世界か！？というか入り込んだ！？」

「まだ確証は・・・現在、ユリシース大陸全土が無事なのは確認しました。ただ沖縄が・・・四国の真下に・・・」

「地質学は俺の専攻ではないし、高卒だ！大学の問題はからまんでくれ！」

「専門家を全国一斉招集したいのですが、マスコミの野郎どもに有名人をとられまして・・・しばらくはかかりそうです。」

「マスゴミ風情が！」

首相官邸で混乱している中、更に情報が入ってきた。

「ユリシース空軍司令官のカール・ジョンソン（略してCJ）です。」

「入りたまえ！」

「現在、日本周辺を空中給油機全機と・・・総理の趣味で量産したFFR-31MRからの偵察情報ですが、こちらが超高度撮影によつて撮られた映像です。領空侵犯しておりますから冷や汗ものでしたよ・・・あちらさんなら良くやってましたが・・・」

「この場所つて・・・」

「韓国の済州島がある地点です。昨日、更新された地図と比較しましたが、間違いありません。」

「緊急招集を掛ける必要があるな・・・ところでFFR-31MRはどうだ？」

「ええとですね・・・とりあえず、アニメと同じ性能にしろの成果は表れました。空軍パイロットからの評価は5を付けても足りないくらいのことです。」

「軍務大臣へ緊急連絡！FA-1、FFR-31 シルフィードの量産を命令！」

「始まったよ・・・（全く、FFR-31MRや61式戦車にF/A-27、拳句にアドミラル56型までリクエストする無茶っぷり・・・それを実現するユリシーズ・エレクトロニクス社も凄いが・・・）」

宣言通りに緊急招集がかかり、全議員・全知事が出席した。

ユリシーズ領土より100km、上空3000m

機種：F/A-18F 武装：対艦パツク

「アンノーン捕捉・・・2時方向、距離3300、高度600に1機。」

「状況が状況とは言え、領空侵犯には間違えない・・・インターセプトしよう。」

「了解。>>レグルス1よりラムウ、不明機1をユリシーズ海にて捕捉、警告の為、接近する。<<」

数分後、

「ターゲット・イン・サイト・・・>>こちらはユリシーズ海軍である。現在、貴機はユリシーズ国の領空を侵犯している。進路の変更が認められなければ撃墜する。<<」

だが、返答はない・・・目視圏内に入り、再度警告を促すも進路を変えないどころか聞こえてすらいない状況であった。

「やりますか？」

「いや、50m圏内へ接近する。どうも今までの領空侵犯機と分が違う・・・」

「戦闘機だったらどうするんです？こっちは対艦ミサイル満載ですよ？」

「気にスナ！シミュレーターで爆弾満載のA-10でSU-37相手に圧勝しているからな！」

100m圏内へ接近する。ターゲットは依然としてユリシース国へ向かっている。因みに、飛行速度合わせるのに一苦労中・・・

「おいおいおい・・・こんな時代にレシプロかよ！しかも複葉機・・・」

「しかも・・・どの国ですか！？」

「こっちが知りたいよ・・・」

2人のパイロットが見たのは偵察型のレシプロ機であった。

「それよりあのレシプロ機・・・八木の巣状態ですよ。」

「どうゆう事だ？」

真横につくと、複葉機のパイロットが確認してもらった。すると、驚いた様子が見られたが、何か合図を出して来る。

「解説は・・・」

「分かりませんが、軍人ではなさそうです。」

「追われの身・・・といことが。」

>>こちらビッグアイ、後方より編隊飛行で向かって来る不明機を捕捉！距離1000、高度200！<<

>>レグルス1よりビッグアイ、誘導機を至急1機頼む！被弾している！<<

>>ビッグアイ、ラジャー！<<

「確証はないが・・・近づくぞ！」

「了解！」

反転し、アンノーン編隊へ向かう。同様に警告メッセージを送るも返答なし。しかも、近づくと機銃弾をお見舞いされる。

>>来たぞ・・・こちらレグルス1、アンノーンより攻撃を受けた！これより戦闘を開始する！<<<

>>対艦ミサイル満載だぞ！<<<

>>捨てる！<<<

>>おま！何をいつて・・・<<<

無線を封鎖し、対艦ミサイルを破棄、身軽になった所で、戦闘を開始した。戦術はヒット&アウェイだ。

「これが初の実戦になるとはな！」

6機編成の敵機は結局、なす術もなく海へ落ちて行った。

>>全機撃墜！これより未確認複葉機の誘導案内のほう助にはいる！<<<

>>基地に戻ったら始末書だな・・・こりゃ。<<<

>>撃った方がよかったか？<<<

>>あさつての方向に飛んだらどうする！<<<

とあるパイロットのコミカルな会話は基地へ到着するまで永遠と続いたのであった。パイロットはこの出撃だけで始末書5枚分書く羽目となった・・・（対艦ミサイル一斉破棄、暗号回線乱用他・・・）常習犯なんだけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2065y/>

チート国家、異世界へ

2011年11月6日02時06分発行